

I. 阿武隈川上流流域下水道事業計画書

(県中処理区)

流域下水道管理者	福島県知事 内堀 雅雄
工事着手の年月日	昭和 51 年 7 月 31 日
工事完成の予定年月日	平成 32 年 3 月 31 日 令和 7 年 3 月 31 日

第1表

流域関連公共下水道の予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書								
流域関連公共下水道の 予定処理区域の面積		8,111.7ヘクタール 8,432.9ヘクタール			流域関連公共下水道の予 定処理区域内の地名		郡山市、須賀川市、本宮市、鏡石町、矢吹町。 区域は下水道計画一般図のとおり。	
流域下水道 処理区域の 名称	市町名	流域関連 公共下水道 の名称	処理分区 の名称	面積 (単位: ヘクタール)	流域関連 公共下水道 との接続番号	流域関連 公共下水道 との接続箇 所の位置	接続する 流域下水道 の幹線名	摘 要
県中処理区	郡山市	郡山市流域 関連公共下水道	郡山第1 分区	178.7	1-8	郡山市 安積町笹川 字篠川	県中幹線	日最大汚水量 3,410 m ³ /日 3,250 m ³ /日 BOD水質 238 mg/l 228 mg/l SS水質 178 mg/l 173 mg/l
		郡山市流域 関連公共下水道	郡山第2 分区	218.1	1-7	郡山市 安積町笹川 一丁目	県中幹線	日最大汚水量 3,630 m ³ /日 3,510 m ³ /日 BOD水質 242 mg/l 230 mg/l SS水質 180 mg/l 174 mg/l
		郡山市流域 関連公共下水道	郡山第3 分区	1,044.6	1-6	郡山市 小田原 三丁目	県中幹線	日最大汚水量 22,480 m ³ /日 21,940 m ³ /日 BOD水質 229 mg/l 224 mg/l SS水質 174 mg/l 169 mg/l
		郡山市流域 関連公共下水道	郡山第4 分区	2,736.3	1-5	郡山市 谷島町	県中幹線	日最大汚水量 71,350 m ³ /日 69,160 m ³ /日 BOD水質 237 mg/l 228 mg/l SS水質 177 mg/l 172 mg/l
		郡山市流域 関連公共下水道	郡山第5 分区	1,018.3 1,049.7	1-4	郡山市 富久山町 久保田 字宮田	県中幹線	日最大汚水量 19,040 m ³ /日 18,880 m ³ /日 BOD水質 254 mg/l 237 mg/l SS水質 184 mg/l 179 mg/l
		郡山市流域 関連公共下水道	郡山第5-1 分区	33.0	1-4-1	郡山市 富久山町 福原塩島	県中幹線	日最大汚水量 880 m ³ /日 850 m ³ /日 BOD水質 311 mg/l 265 mg/l SS水質 207 mg/l 200 mg/l
		郡山市流域 関連公共下水道	郡山第6 分区	80.8 163.7	1-3	郡山市 富久山町 福原字 亀ノ子田	県中幹線	日最大汚水量 1,010 m ³ /日 2,480 m ³ /日 BOD水質 220 mg/l 219 mg/l SS水質 171 mg/l 166 mg/l
		郡山市流域 関連公共下水道	郡山第7 分区	136.2	1-2	郡山市 日和田町 八丁目 字深居	県中幹線	日最大汚水量 2,150 m ³ /日 2,300 m ³ /日 BOD水質 235 mg/l 226 mg/l SS水質 176 mg/l 171 mg/l
		郡山市流域 関連公共下水道	郡山第8 分区	15.0	1-1	郡山市 日和田町 高倉 字僧ヶ坂	県中幹線	日最大汚水量 320 m ³ /日 290 m ³ /日 BOD水質 220 mg/l 218 mg/l SS水質 172 mg/l 164 mg/l
		郡山市流域 関連公共下水道	郡山第9 分区	40.0	3-6	郡山市 熱海町 一丁目	熱海幹線	日最大汚水量 2,490 m ³ /日 2,250 m ³ /日 BOD水質 158 mg/l 208 mg/l SS水質 122 mg/l 156 mg/l

流域下水道 処理区域の 名 称	市町名	流域関連 公共下水道 の 名 称	処理分区 の 名 称	面 積 (単位: ヘクタール)	流域関連 公共下水道 との接続番号	流域関連 公共下水道 との接続箇 所の 位 置	接続する 流域下水道 の幹線名	摘 要
県中処理区	須賀川市	須賀川市流域 関連公共下水道	須賀川第1 分区	678.6 712.4	1-12	須賀川市 中曽根	県中幹線	日最大汚水量 10,920 m ³ /日 10,240 m ³ /日 BOD水質 229 mg/l 232 mg/l SS水質 184 187 mg/l
		須賀川市流域 関連公共下水道	須賀川第2 分区	337.0	1-11	須賀川市 中宿	県中幹線	日最大汚水量 5,220 m ³ /日 4,780 m ³ /日 BOD水質 234 mg/l 238 mg/l SS水質 191 mg/l 196 mg/l
		須賀川市流域 関連公共下水道	須賀川第3 分区	180.4 189.1	1-10	須賀川市 大字滑川 字東町	県中幹線	日最大汚水量 1,820 m ³ /日 1,810 m ³ /日 BOD水質 273 mg/l 280 mg/l SS水質 245 mg/l 271 mg/l
		—	—	—	—	—	—	日最大汚水量 1,820 m ³ /日 1,010 m ³ /日 BOD水質 273 mg/l 220 mg/l SS水質 245 mg/l 167 mg/l
	本宮市	本宮市流域 関連公共下水道	本宮第1 分区	350.3 352.4	2-1	本宮市 仁井田 字瀬戸川	本宮幹線	日最大汚水量 4,400 m ³ /日 4,460 m ³ /日 BOD水質 222 mg/l 222 mg/l SS水質 173 mg/l 168 mg/l
		本宮市流域 関連公共下水道	本宮第2 分区	50.2 49.6	2-2	本宮市 仁井田 字一里壇	本宮幹線	日最大汚水量 310 m ³ /日 500 m ³ /日 BOD水質 221 mg/l 332 mg/l SS水質 171 mg/l 264 mg/l
		本宮市流域 関連公共下水道	本宮第3 分区	4.3	3-1	本宮市 仁井田 字一里壇	熱海幹線	日最大汚水量 50 m ³ /日 50 m ³ /日 BOD水質 200 mg/l 200 mg/l SS水質 150 mg/l 150 mg/l
		本宮市流域 関連公共下水道	本宮第4 分区	52.1 50.9	3-2	本宮市 荒井 字前田	熱海幹線	日最大汚水量 180 m ³ /日 150 m ³ /日 BOD水質 243 mg/l 242 mg/l SS水質 193 mg/l 183 mg/l
		本宮市流域 関連公共下水道	本宮第5 分区	65.5 65.8	3-3	本宮市 荒井 字久保田	熱海幹線	日最大汚水量 740 m ³ /日 1,000 m ³ /日 BOD水質 219 mg/l 221 mg/l SS水質 169 mg/l 167 mg/l
		本宮市流域 関連公共下水道	本宮第6 分区	27.7	3-4	本宮市 岩根 字代田	熱海幹線	日最大汚水量 230 m ³ /日 250 m ³ /日 BOD水質 222 mg/l 221 mg/l SS水質 172 mg/l 168 mg/l
		本宮市流域 関連公共下水道	本宮第7 分区	12.4 11.6	3-5	本宮市 岩根 字北石橋	熱海幹線	日最大汚水量 150 m ³ /日 150 m ³ /日 BOD水質 217 mg/l 217 mg/l SS水質 175 mg/l 167 mg/l

流域下水道 処理区域の 名称	市町名	流域関連 公共下水道 の名称	処理分区 の名称	面積 (単位: ヘクタール)	流域関連公 共下水道と接 続箇所の番号	流域関連 公共下水道 との接続箇 所の位置	接続する 流域下水道 の幹線名	摘要
県中処理区	鏡石町	鏡石町流域関連 公共下水道	鏡石第1 分区	55.2	1-15	鏡石町 笠石原町	県中幹線	日最大汚水量 340 m ³ /日 300 m ³ /日 BOD水質 227 mg/l 217 mg/l SS水質 181 mg/l 171 mg/l
		鏡石町流域関連 公共下水道	鏡石第2 分区	81.1	1-14	鏡石町 旭町	県中幹線	日最大汚水量 800 m ³ /日 750 m ³ /日 BOD水質 218 mg/l 220 mg/l SS水質 169 mg/l 178 mg/l
		鏡石町流域関連 公共下水道	鏡石第3 分区	244.0	1-13	鏡石町 池ノ原	県中幹線	日最大汚水量 3,310 m ³ /日 3,300 m ³ /日 BOD水質 239 mg/l 221 mg/l SS水質 196 mg/l 174 mg/l
		鏡石町流域関連 公共下水道	鏡石第4 分区	4.8	1-15-1	鏡石町 南町	県中幹線	日最大汚水量 40 20 m ³ /日 BOD水質 300 200 mg/l SS水質 275 300 mg/l
		鏡石町流域関連 公共下水道	鏡石第5 分区	26.8	1-14-1	鏡石町 桜町	県中幹線	日最大汚水量 200 m ³ /日 50 m ³ /日 BOD水質 213 mg/l 200 mg/l SS水質 169 mg/l 150 mg/l
	矢吹町	矢吹町流域 関連公共下水道	矢吹分区	440.3 570.9	1-16	矢吹町 大池地内	県中幹線	日最大汚水量 3,680 m ³ /日 3,940 m ³ /日 BOD水質 223 mg/l 222 mg/l SS水質 174 mg/l 170 mg/l

第2表

吐 口 調 書						
流域下水道 処理区の 名 称	吐口の種類	吐口番号 又は名称	吐口の位置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先の 名 称	摘 要
県中処理区	処理施設	県中浄化 センター	郡山市 日和田町 高倉地内	(日平均) 1.46 1.43 (日最大) 1.84 1.82	阿武隈川	低水位 216.80 (T.P+m) 直近観測所 阿久津 H29 値

第3表

管 渠 調 書								
流域下水道 処理区 の名称	幹線 名	位 置		最 大 内のり寸法 (単位: mm)	最 小 内のり寸法 (単位: mm)	延 長 (単位 :メートル)	点検 箇所 の数 (単位: 箇所)	摘 要
		起 点	終 点					
県中 処理区	県中 幹線	郡山市 日和田町 高倉僧ヶ 坂地内	矢吹町 大池地内	φ 3,500	φ 700	37,050	—	
	本宮 幹線	郡山市 日和田町 高倉字 阿久津地 内	本宮市 仁井田字 瀬戸川	φ 1,600	φ 400	2,170	1	方法:マンホール 内からの管 内目視もし くは管ロテ レビカメラを用 いる補法 頻度:5年に 1回
	熱海 幹線	本宮市 仁井田字 一里壇	熱海町 玉川字 阿曾沢	φ 700	φ 500	11,320	—	
計						50,540	1	

第4表

処 理 施 設 調 書							
終末処理場 等の名称	位 置	敷地面積 (単位： ヘクタール)	計画放流 水 質 (BOD)	処理方法	処理能力	計画処理 人 口	摘 要
					晴天日最大 (単位：立方メートル)		
県中浄化 センター	郡山市 日和田町 高倉地内	52.96	15mg/ℓ	標準活性 汚泥法	162,300 9/10 系列	308,200 318,470	計画汚水量 (日最大) 全体計画 171,990m ³ /日 170,080m ³ /日 事業計画 159,150m ³ /日 157,670m ³ /日 流入水質 BOD 236mg/ℓ 229mg/ℓ SS 179mg/ℓ 176mg/ℓ

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
県中浄化センター	主ポンプ設備	2台	立軸渦巻斜流ポンプ φ400mm×2台	揚水量 32m ³ /min	A棟
		3台	φ600mm×3台 (内予備1台)	揚水量 42m ³ /min	
		3台	水中汚水ポンプ φ400mm×3台 (内予備1台)	揚水量 17m ³ /min	本宮幹線
		2台	立軸渦巻斜流ポンプ φ500mm×2台 (内予備1台)	揚水量 30m ³ /min	B棟
	最初沈殿池	9池	鉄筋コンクリート造り (1系列) 池巾 16.5m×池長 35.1m ×有効水深 3.0m	水面積負荷 50.0m ³ /m ² /d	1系列=3池
		15池	鉄筋コンクリート造り (1系列) 池巾 16.5m×池長 23.7m ×有効水深 3.0m		24/27
反応タンク	8池	鉄筋コンクリート造り 池巾 8.05m×池長 66.5m ×有効水深 6.0m	エアレーション時間 8.0hr	1系列=2池	
	10池	鉄筋コンクリート造り 池巾 8.05m×池長 68.0m ×有効水深 6.0m		18/20	
送風機設備		単段増速			
		1台	φ400/350×190m ³ /min		
		3台	φ400/350×190m ³ /min (内予備1台)		
		1台	φ400/350×140m ³ /min		
最終沈殿池	12池	鉄筋コンクリート造り (1系列) 池巾 16.5m×池長 49.1m ×有効水深 3.0m	水面積負荷率 20.0m ³ /m ² /d	1系列=3池	
	15池	鉄筋コンクリート造り (1系列) 池巾 16.5m×池長 59.0m ×有効水深 3.5m		27/30	

終末処理場等の名称	主要な施設の名 称	個数	構 造	能 力	摘 要
県中浄化センター	返送汚泥ポンプ	1 式	吸込みスクリーン付き汚水ポンプ φ 200mm×2 台 φ 300mm×2 台 φ 300mm×5 台	揚水量 12m ³ /min 揚水量 14m ³ /min 揚水量 13m ³ /min	返送率 100% として予備含
	余剰汚泥ポンプ	1 式	φ 100mm×4 台 (内予備 2 台) φ 100mm×6 台 (内予備 3 台)	揚水量 1 m ³ /min 揚水量 1.5m ³ /min	
	塩素混和池	1 池	鉄筋コンクリート造り 池中 4.5m×池長 60.0m ×有効水深 3.0m	接触時間 15min 以上	1/1
	塩素減菌設備	1 式	定量ダイヤフラムポンプ φ 25mm×3 台 (内予備 1 台)	塩素混入率 1~3mg/ℓ	3/3
	用水設備	4 台	砂ろ過器 立形圧力式		4/4
	濃縮タンク	4 槽	鉄筋コンクリート造り 内径 10.00m×3.0m (2 槽) 内径 13.0m×4.0m 土木 2 槽 機電 2 槽	固形物質負荷率 60kg/m ³ /d	4/4
	機械濃縮機	1 式	遠心濃縮機	20m ³ /hr	6/7
	ガスタンク	1 基	内径 8.7m×高さ 8.4m	貯留能力 300m ³	
	消化タンク	1 式	鉄筋コンクリート造り 内径 15.5m ×直胴部高さ 15.5m×2 槽	消化日数 20 日	投入汚泥は事業計画対象の 47%
	加温設備	1 式		400,000kcal/hr	
	脱水設備	1 式	機械式脱水機	処理能力 270kg-DS/日 680kg-DS/日	
コンホ ^ス ト施設	6 槽	横形スクープ式 高さ 1.3m×巾 3.0m ×長さ 20.0m			
汚泥溶融施設	1 基	溶融炉	70t/日	白河市、西郷村よりの搬入ケーキ量 18.6m ³ /日も溶融する。	

終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
県中浄化センター	特高受変電設備	1式		4000kVA	
	自家発電設備	2台	ディーゼル発電機	初期設備 500KVA×1台 発電容量 1,000KVA×2台 (事業計画及び全体)	2/2
	管理本館	1式		中央管理室、事務室会議室、水質試験室電気室他	
	スクリーンポンプ棟(A)	1式	鉄筋コンクリート造り	スクリーン室、ポンプ室他	ブローアー棟合棟
	スクリーンポンプ棟(B)	1式	鉄筋コンクリート造り	スクリーン室、ポンプ室他	ブローアー棟合棟
	脱水機棟	1式	鉄筋コンクリート造り(1棟) 鉄骨造り(1棟)		
	塩素減菌機室	1式	鉄筋コンクリート造り	注入機室他	
	自家発電機棟	1式	鉄筋コンクリート造り	自家発電機室	
	砂ろ過棟	1式	鉄筋コンクリート造り		
	コンポスト施設	1式	鉄筋コンクリート造り		
	溶融電気棟	1式	鉄筋コンクリート造り	電気室	
	汚泥搬入棟	1式	鉄骨造り	汚泥計量室、受入室	
	諸配管	1式	铸铁管他		
	機械濃縮機棟	1式	鉄筋コンクリート造り	遠心濃縮機	

第5表

ポンプ施設調書					
ポンプ施設の名 称	流域下水道 処理区の名称	ポンプ施設の 位 置	敷地面積 (単位:ヘクタール)	1 分間の揚水量 (単位:立方メートル)	摘 要
				晴天時最大	
本宮ポンプ場	県中処理区	本宮市 仁井田 字瀬戸川地内	0.20	4.44 4.47	
鏡石ポンプ場	県中処理区	鏡石町 緑町地内	0.185	8.51	

ポンプ施設の施設内の主要な施設					
ポンプ施設の名 称	主要な施設の名称	数	構造	能 力	摘 要
本宮ポンプ場	ポンプ設備	1 式		φ200×4.7m ³ /min×2 台	内予備 1 台
鏡石ポンプ場	ポンプ設備	1 式		φ200×4.05m ³ /min×2 台 φ200×3.30m ³ /min×2 台	内予備 1 台

第6表 貯留施設調書

該当する貯留施設はない。

第7表 雨水流調整施設調書

該当する雨水流調整施設はない。

その他事業計画を明らかにするために必要な書類

(様式1) 施設の設置に関する方針

主要な施策 (事業計画に基づき今後実施する予定の事業に関連するものを記載)	整備水準				事業の 重点化・効率化 の方針	中期目標を 達成するための 主要な事業	備考
	指標等	現在 (平成30 年度末)	中期目標 (令和7年 度末)	長期目標			
汚水処理	下水道 処理人 口普及 率	—	—	—	—	—	—
関連公共下水道による。							
浸水対策	都市浸 水対策 達成率	—	—	—	—	—	—
高度処理	高度 処理 実施率	—	—	—	—	—	—
合流式下水道の改善	合流式 下水道 改善率	100%	100%	100%	概成	概成	—
汚泥の 再生利用	燃料又 は肥料 として 有効利 用され た割合	50%	80%	100%	民間の再資源化 施設によりコン ポスト化してい る。	民間の再資源化 施設を活用。	—
その他 処理水の有 効利用	—	—	—	—	—	—	—
雨水の有効 利用	—	—	—	—	—	—	—

(様式2) 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の計画
管渠施設	概ね5～10年に一度点検を実施する。 点検の結果、異常の可能性のある箇所について、テレビカメラ等による調査を実施。
汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	設置後概ね7年で調査を実施し、修繕・改築の必要性を検討。
水処理施設 (送風機本体)	分解・調査を概ね10年に一度実施。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	異常が確認された場合、または概ね5年に一度分解・調査を実施し、修繕・改築の必要性を検討。

➤ 管渠施設の点検・調査頻度は、以下のとおり。

- ・腐食の恐れの高い箇所：1回/5年
- ・福島県地域防災計画に位置付けられている緊急輸送路に布設した管渠：1回/5年
- ・上記以外で布設後20年を経過した管渠：1回/7年
- ・上記以外で布設後20年未満の管渠：1回/10年

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改善の計画
管渠施設	緊急度がⅡ以下のものを修繕・改築の対象とする。
汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	健全度3～2のものを修繕の対象、健全度2以下のものを改築の対象とする。
水処理施設 (送風機本体)	健全度3～2のものを修繕の対象、健全度2以下のものを改築の対象とする。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	健全度3～2のものを修繕の対象、健全度2以下のものを改築の対象とする。

iii) 改築事業の概要 (令和2年度～令和6年度)

主要な施設	改築事業の計画
管渠施設	管渠更生、マンホールポンプの修繕、マンホール蓋の修繕
汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	No. 1, 2 主ポンプ (揚水量 30 m ³ /分×2 台)
水処理施設 (送風機本体)	4系散気板 (旋回流式微細気泡散気板)
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	No. 3 脱水機 (ベルトプレス 270kg-DS/日×1 台)

b) 施設の長期的な改築の需要見直し

改築の需要見直し (年あたりの概ねの事業規模の試算)	試算年次	試算の前提条件
年当たり概ね8億円	概ね30年後	標準耐用年数で改築

(様式3) 財政計画書

上段:変更前
下段:変更後 (単位:千円)

年次	イ 経費の部									
	建設費改良費					起債元利償還費	維持管理費	その他	計	合計
	管渠	ポンプ場	処理場	計	うち用地費					
過年度計 (平成30年度まで)	35,232,453	1,841,621	45,225,647	82,299,721	3,603,976	19,764,830	35,538,399	-	55,303,229	137,602,950
	34,833,120	1,856,835	44,750,969	81,440,924	3,603,976	19,791,688	38,481,116	-	58,272,804	139,713,728
令和1年度	424,000	-	450,000	874,000	-	523,529	1,133,000	-	1,656,529	2,530,529
	38,800	8,400	411,800	459,000	-	523,164	1,670,240	-	2,193,404	2,652,404
令和2年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	53,600	-	434,500	488,100	-	476,173	1,732,896	-	2,209,069	2,697,169
令和3年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75,600	110,000	201,000	386,600	-	422,106	1,800,436	-	2,222,542	2,609,142
令和4年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	36,600	306,000	240,000	582,600	-	400,743	1,858,164	-	2,258,907	2,841,507
令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	74,800	71,000	665,000	810,800	-	377,880	1,920,776	-	2,298,656	3,109,456
令和6年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27,600	71,000	660,000	758,600	-	387,645	1,983,432	-	2,371,077	3,129,677
小計	424,000	-	450,000	874,000	-	523,529	1,133,000	-	1,656,529	2,530,529
(令和1～6年度まで)	307,000	566,400	2,612,300	3,485,700	-	2,587,711	10,965,944	-	13,553,655	17,039,355
合計	35,656,453	1,841,621	45,675,647	83,173,721	3,603,976	20,288,359	36,671,399	-	56,959,758	140,133,479
	35,140,120	2,423,235	47,363,269	84,926,624	3,603,976	22,379,399	49,447,060	-	71,826,459	156,753,083

記載要領

- 1.流域関連公共下水道は、「建設改良費」の欄に建設負担金、「維持管理費」の欄に管理運営費負担金を含む。
- 2.「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

上段:変更前
下段:変更後 (単位:千円)

年度	ロ 財源の部												
	建設費改良費							維持管理費及び起債償還費					合計
	国費	起債	他会計繰入金	市町分担金			その他	計	市町分担金	他会計繰入金	その他	計	
起債				市町費	計								
過年度計 (平成30年度まで)	47,845,744	14,318,400	2,908,590	14,318,400	2,908,587	17,226,987	-	82,299,721	35,538,399	19,764,830	-	55,303,229	137,602,950
	47,297,339	14,215,974	2,855,819	14,215,974	2,855,818	17,071,792	-	81,440,924	38,481,116	19,791,688	-	58,272,804	139,713,728
令和1年度	512,000	180,900	100	180,900	100	181,000	-	874,000	1,133,000	523,529	-	1,656,529	2,530,529
	299,533	47,840	31,893	47,840	31,894	79,734	-	459,000	1,670,240	523,164	-	2,193,404	2,652,404
令和2年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	312,667	53,770	33,946	53,770	33,947	87,717	-	488,100	1,732,896	476,173	-	2,209,069	2,697,169
令和3年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	241,333	44,720	27,913	44,720	27,914	72,634	-	386,600	1,800,436	422,106	-	2,222,542	2,609,142
令和4年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	378,500	62,370	39,680	62,370	39,680	102,050	-	582,600	1,858,164	400,743	-	2,258,907	2,841,507
令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	524,166	87,160	56,157	87,160	56,157	143,317	-	810,800	1,920,776	377,880	-	2,298,656	3,109,456
令和6年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	497,333	79,520	51,113	79,520	51,114	130,634	-	758,600	1,983,432	387,645	-	2,371,077	3,129,677
小計	512,000	180,900	100	180,900	100	181,000	-	874,000	1,133,000	523,529	-	1,656,529	2,530,529
(令和1～6年度まで)	2,253,532	375,380	240,702	375,380	240,706	616,086	-	3,485,700	10,965,944	2,587,711	-	13,553,655	17,039,355
合計	48,357,744	14,499,300	2,908,690	14,499,300	2,908,687	17,407,987	-	83,173,721	36,671,399	20,288,359	-	56,959,758	140,133,479
	49,550,871	14,591,354	3,096,521	14,591,354	3,096,524	17,687,878	-	84,926,624	49,447,060	22,379,399	-	71,826,459	156,753,083
下水道使用料※関連事項	接続率: 92.7%(平成30年度:初年度) → 93.4%(令和6年度:最終年度)												
	講じる対策: 住民の目に触れにくい下水道施設の役割や重要性をPRし、その利用への理解を得るための広報活動や、関連市町と協同し職員の個別訪問等の接続率向上の啓蒙活動を強化する。												
	有収率:												
	講じる対策: 流域下水道であり、維持管理費相当を関連市町からの分担金で賄うものである。												
その他の講じる対策 下水道使用料の見直し検討													

記載要領

- 1.「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県補助金等を記載する。なお、流域下水道は建設負担金を含んで記載する。
- 2.「維持管理費及び起債元利償還費」の「その他」の欄には、都道府県補助金、積立金取り崩し額等を記載する。なお、流域下水道は管理運営費負担金を含んで記載する。
- 3.下水道使用料については、最近の有収水量の動向、人口・世帯数の見直し(国立社会保障・人口問題研究所の推計も参照)、企業立地の見直し等を踏まえた上で算定すること。
- 4.「下水道使用料※関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン(国土交通省、日本下水道協会)」も必要に応じて参照すること。
- 5.「下水道使用料※関連事項」の「その他の講じる対策」欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組について記載する。